

光合成効率促進装置「コンダクター」を用いた育苗環境統合制御システム

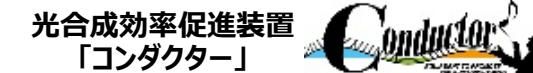
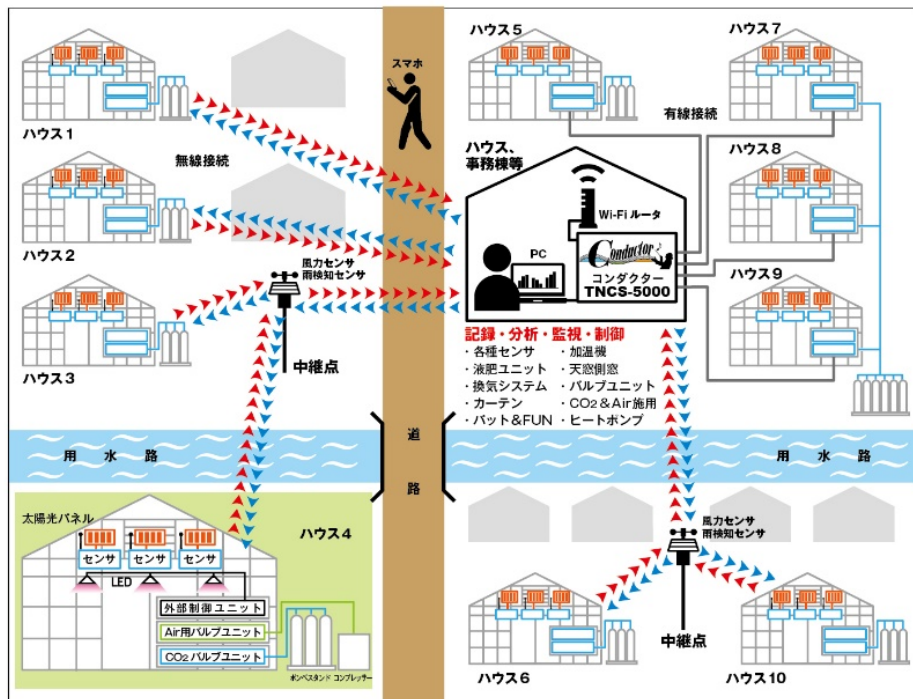
概要

- 光合成効率装置「コンダクター：TNCS-5000」は、10カ所のエリアを個別独立制御可能である。
- 各エリア毎に40カ所程度のセンサが設置可能である。
- 各エリアに設置可能なセンサは、全て太陽光パネルで蓄電し、センサや通信モジュールの作動電源を賄える。
- 各無線通信は、小電力無線で行い、数百m程度の距離であれば、送受信可能で、各外部制御機器も無線通信可能であり、遠隔監視、遠隔制御が可能なシステムである。

導入効果

- 点在する育苗施設を一つの制御盤で測定、制御が可能になり、設備コストを低減できる。
- 育苗に必要なAirやCO2を独立で制御可能で、発芽率を上げるLEDや灌水システムと連動可能である。
- CO2施用により、栄養生長を促進し、育苗、育種期間を短くする事が可能である。
- 大規模な連棟ハウス等での長距離ケーブル施設が不要になり、工事費用が低減可能となる。
- 無線規格を統一する事で、各種センサ、制御周波数帯の電波混信を防ぐ事が可能となる。

図 コンダクター TNCS-5000 接続例



○対象品目

水稻	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・通洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	林業（3）造林・保育
技術ニーズ	育苗
具体的なニーズの内容	育苗施設の環境を自動で制御するシステム

○開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

☎連絡先

(株)テヌート 担当：杉田明光
 TEL:080-7792-0116
 FAX:03-6859-8401
<http://www.tenuto.co.jp/contact@tenuto.co.jp>